

令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人 炭酸泉源保存会

1. 事業成果

当会は令和2年4月30日に神戸市の認可を受け同年5月15日に設立しました。設立時期がコロナ禍による緊急事態宣言下と重なり大変な門出となりました。令和2年度通常総会においてコロナ禍の現状を踏まえ、本年度予定していた観光イベントと杉が谷地区の炭酸泉源に関する旧跡の調査・復旧の中止と紫陽花の植栽での一般応募者の受け入れを中止すべきではとの発議があり全員一致で採択した。本年度活動は、杉が谷地区の清掃・伐採を中心とした活動に限定することとしました。清掃・伐採活動においても炭酸泉源公園内及び炭酸坂に絞って正会員のみで行うことにしました。

(1)杉が谷地区の清掃・間伐について

今年は、長雨で六甲山中は土砂流や灌木の倒木が例年より多く見られました。特に7月は長雨が続き、公園周辺の崖からの土石や堆積した落葉の園内への流入、公園内での湧水による土砂の流出、土砂や落ち葉の流入による排水溝の土石の堆積など、多くの被害が出ました。コロナ禍の不自由な状況でしたが、復旧活動を早期に行い大事には至りませんでした。また、通常の清掃活動は、週3・4回のペースで行い、また、活動の内容を狭めたことにより年間を通して炭酸泉源公園及び周辺的美観を維持することができました。

(2)杉が谷地区の植栽について

紫陽花の植栽については、前年、射場町の町内清掃の折りに町内会の皆さんに伐採の際に出た紫陽花の枝を譲り受け挿木した苗木約200本を炭酸泉源公園内に植樹しました。当初の事業計画では、一般参加のイベントとして行う予定でしたが冒頭に記した通り緊急事態宣言の発令もあり会員のみでの活動となりました。その為植樹後の有馬町の歴史に関する講演も中止いたしました。

約200本の植栽を行いました。1日中、日差しの届かない場所が多く、冬場は乾燥するため、越冬できた苗は5割程度でした。対策が必要です。暖かくなると害虫被害に備えなければなりません。場所柄、農薬は使えませんので、目視で害虫(毛虫)を見つけ手作業で駆除するしかありません。

(3)観光イベントの開催について

「三密を避ける」、「不要不急の外出を避ける」という政府方針を遵守し中止

(4)杉が谷地区の炭酸泉源に関する旧跡の調査・復旧について

「三密を避ける」、「不要不急の外出を避ける」という政府方針を遵守し中止

2. 事業実施に関する事項

事業名	プロジェクト内容	実施月 実施回数	実施場所	実施状況	収益
(1)杉が谷地区 の清掃・間伐	清掃・間伐	通年	炭酸泉源公園	実施	0 円
		年2回	有馬稲荷参道周辺		
		年2回	鳥地獄虫地獄周辺		
	清掃	月1回	炭酸坂周辺		
			こぶし道周辺		
(2)杉が谷地区 の植栽	紫陽花の植栽	6 月	炭酸泉源公園及び 有馬稲荷参道	正会員のみ で実施	0 円
(3)観光イベント の開催	講演 「炭酸泉源と炭 酸せんべいの意 外な歴史」	コロナ禍により中止			
(4)杉が谷地区 の炭酸泉源に 関する旧跡の 調査・復旧	炭酸泉源に関す る旧跡の調査・ 復旧	コロナ禍により中止			

3. 事業体制

(1) 会議に関する事項

通常総会

開催日 令和2年 6 月 30 日(火) 18時00分から18時30分

開催場所 リモート会議

出席者 7 名(うち表決委任者 3 名 ※正会員総数10名

議事内容 令和2年度(第 1 期) 事業計画、活動予算の承認

(2) 事務局体制 事務局長:内田彩加

(3) 会員数 正会員 10名

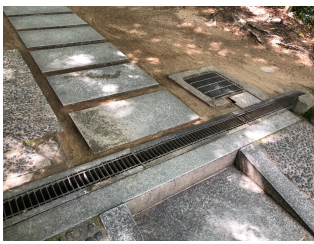
賛助会員 5名

活動状況

酸泉源前の清掃前と清掃後(通常の清掃活動)



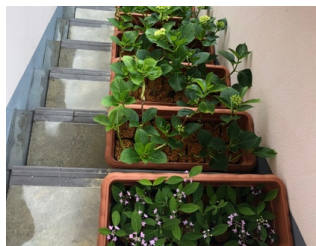
7月の長雨で埋まった側溝の清掃前と清掃後(復旧作業)



生垣・笹垣の剪定



紫陽花の挿木(苗作り)



苗木の植樹の様子

